

いわて地域おこし協力隊「岩手県移住コーディネーター」募集要項 (第2回)

■地域の紹介

岩手県は、本州の北東部に位置し、東西約 122 km、南北 189 kmの南北に長い形をしています。広さは、15,275 km²で、北海道に次ぐ広大な面積を有し、緑豊かな奥羽山脈や北上高地、母なる北上川、きらめく三陸の海など豊かな自然に恵まれています。

活動の拠点となる盛岡市は、人口約 30 万人の中核市で、岩手県の県庁所在地です。市内中心部には、美しい川が流れ、盛岡城跡公園や岩手銀行赤レンガ館をはじめとする歴史的建造物も多くあり、夏には「さんさ踊り」が開催されるなど、にぎわいと自然、歴史が調和した都市です。また、東北新幹線や東北自動車道など交通網の結節点でもあり、市内も公共交通機関が充実していることから、利便性が高い環境です。

そして令和 5 年 1 月には、ニューヨーク・タイムズ紙が発表した「2023 年に行くべき 52 か所」において、イギリスの首都ロンドンに続く 2 番目に盛岡市が紹介され、現座国内外から多くの注目を集めております。

(参考)

盛岡市移住定住サイト

<https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/1027362/index.html>

■募集の背景

人口減少の進む岩手県では、若者や女性、子育て世帯を中心として、一人でも多くの方に、本県に移住していただくため、県内すべての市町村（33市町村）と連携して、いわてで暮らし、働く魅力を発信する取組みを進めています。

全市町村に「岩手県移住コーディネーター」を設置して日常的に移住希望者への相談対応を行っています。また、年に一度、全市町村が出展する「岩手県移住フェア」を開催しているほか、移住コーディネーターとの編集会議を経て「いわて暮らしビジュアルブック『&iwate』」を令和 5 年 3 月に発行しました。

岩手県は、かつて本県出身の宮沢賢治が「イーハトーブ」と名付けて、心の中の理想郷として愛したふるさとです。そんな岩手での暮らしを「部活動」の楽しさに見立て、「イーハトー部」という名称で移住ポータルサイトの運営や Twitter などでの発信も行っています。

これらの取組みをさらに進めていき、岩手県が「移住先として選ばれる」ために、若者や女性、子育て世帯に向けた情報発信や移住コーディネーターとの連携を強化するため「地域おこし協力隊」を募集することとなりました。

皆さんの移住者としての感覚やセンスを生かし、「全県」を活動範囲として、オールいわてでの取組みを推進し、いわての魅力を丸ごと発信するミッションにチャレンジしてみませんか？

1 協力隊の業務について

(1) 業務概要について

- ①若者や女性、子育て世帯に訴求する PR チラシや発信素材の制作、SNS などの情報発信
 - ・ 移住相談窓口で配布する支援制度などの「チラシ・フライヤー制作」
 - ・ SNS で発信する「PR 素材」の制作
 - ・ SNS での情報発信（移住コーディネーターから寄せられた市町村の取組みの発信含む）
- ②市町村の移住コーディネーターとの連携強化、連携した移住者の定着支援
 - ・ 市町村の取組みのヒアリング、現地での打合せ
 - ・ 移住コーディネーターや首都圏移住相談窓口との「意見交換会」の開催

(2) スケジュールの例

業務内容と時期により発生する業務は日々異なるため、あくまで一例となります。

(1日)

08:30 出勤、チームミーティング・メール対応
10:00 企画書作成や書類作成、調整業務など
12:00 昼休憩
13:00 移住コーディネーターとの打合せ
15:30 情報発信業務など
17:15 退勤

(週間)

月曜日・・・ミーティング、情報発信の効果測定
火曜日・・・情報発信の情報収集、企画立案・調整
水曜日・・・沿岸地域へ出張、移住コーディネーターとの打合せ・意見交換
木曜日・・・前日の打合せ結果の取りまとめ、情報発信業務、ミーティング
金曜日・・・PR チラシや SNS 発信素材の制作
土曜日・・・休日
日曜日・・・休日
※土日は「移住イベント」（東京都内またはオンライン開催、月1回程度）に対応していただく場合があります。その際は、規定に基づき振替休日を取得していただきます。

(3) 発展的な業務

- ・ 移住コーディネーターと連携した「移住者交流会」などの開催
- ・ 基本業務のなかで生まれた本県の移住促進につながる取組みの実施

(4) 3年間の活動イメージ

○情報を集め、繋がりを作る1年目

- ①県内各地を訪問して、市町村担当者や移住コーディネーター、地域おこし協力隊 OBOG の組織「いわて地域おこし協力隊ネットワーク」などの移住支援・地域づくり団体との繋がりを作ります。
- ②本県の情報発信の取組みを整理・分析するとともに、他県の事例を情報収集して、情報発信の計画を検討します。

○移住コーディネーターとの連携を深める2年目

- ①移住コーディネーターとの「意見交換会」を開催するほか、SNSでの情報発信や、チラシ制作などを進めます。
- ②移住コーディネーターなどと連携して、実際に岩手で暮らす移住者との繋がりをつくります。

○移住者の定住を応援する3年目

- ①移住者である自身の「いわて暮らし」の実体験も踏まえて、2年目の取組みをさらに進めていただきます。
- ②県内各地の移住者や移住コーディネーターとの繋がりをいかして、「移住者の定住」につながる事業（移住者交流会など）を企画していただきます。

○任期終了後について

3年間の業務の中で生まれたつながりや経験を生かしての県内民間企業や地域づくり団体等への就職や、デザインなどご自身のスキルを生かした起業など、任期終了後のキャリアアップを応援します。

特に、県が設置（定住推進・雇用労働室が所管）している就職・仕事のサポート施設「ジョブカフェいわて」（盛岡市内）に所属する専門のキャリアカウンセラーを通じた就職支援なども利用していただくことが可能です。

(5) その他の業務

日報や月報、報告書等の業務があります。また、必要な研修の受講など協力隊として必要な業務を行います。

2 求める人材について

(1) 求められるスキル・経験

- ①企業などでチラシ制作やSNSなどの情報発信の経験があること
- ②普通自動車運転免許（AT限定可）を有していること
- ③パソコン（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNSによる情報発信など）の基本的な操作を行うことができること

(2) 歓迎するスキル・経験

- ①チラシやSNSでの発信素材などの制作スキルを持っていること
- ②画像編集ソフト（IllustratorやPhotoshopなど）の経験があること
- ③ファシリテーター（会議などの進行役）などの経験があること

(3) 求めている人材について

- ①人との交流が好きな人
- ②情報発信が好きな人
- ③移住や地域づくりに関わる仕事をしてみたい人
- ④県内の移住者らとコミュニケーションがとれる人

3 住環境や交通手段について

(1) 住環境について

岩手県の県庁所在地である盛岡市は人口約 30 万人の中核市ならではの高い利便性と歴史的な街並み、豊かな自然環境を併せ持ったまちです。市内中心部には美しい川が流れ、岩手のシンボルである岩手山が四季折々の表情を見せてくれます。ニューヨーク・タイムズ紙「2023 年に行くべき 52 カ所」にも選ばれました。

お住まいは、市内の民間アパートなどをご自身で探していただきます。住まいや暮らしに関する相談は、盛岡市の移住コーディネーターにご相談ください。

■県移住ポータルサイト／移住コーディネーター／盛岡市

<https://iju.PRef.iwate.jp/soudan/coordinator/#anc-morioka>

(2) 交通手段について

- ・公共交通機関を利用

東京～盛岡 JR 新幹線はやぶさ 約 2 時間 20 分

※職場は盛岡駅からバスで約 10 分（徒歩で約 20 分）

4 応募要件等について

(1) 募集人数

いわて地域おこし協力隊 岩手県移住コーディネーター 1 名

(2) 着任予定日

令和 6 年春頃を想定（時期については応相談）

(3) 岩手県との雇用関係の有無

岩手県との直接の雇用関係はなく、「いわて定住・交流促進連絡協議会任期付職員」として任用します。（詳細は（8）雇用形態をご覧ください）

(4) 応募資格

次の①～⑤の要件をすべて満たす方。

① 次のいずれかに該当する方

ア 現在、三大都市圏又は地方都市等（過疎、山村、離島、半島などの地域に該当しない市町村）に居住し、着任後に住民票を盛岡市に異動し居住できる方

イ 盛岡市以外の市町村において、地域おこし協力隊員として同一地域で 2 年以上活動し、かつ解職後 1 年以内の方で、協力隊員として採用された後に盛岡市に生活の拠点を移し、住民票を異動することが可能である方

※地域要件は、国の地域おこし協力隊推進要綱における「地域おこし協力隊及び地域プロジェクトマネージャーの特別交付税措置に係る地域要件確認表」によるものとします。詳細は総務省の HP で確認していただくか、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000862222.pdf

② 心身が健康で、かつ、地域協力活動に意欲と情熱を持っている方

③ 普通自動車運転免許を取得している方（AT 限定可）

④ パソコンを日常的に使用しており、一般的な操作（Excel・Word・PowerPoint・Mail・SNS による情報発信など）を行っての業務が可能なる方

⑤ 地方公務員法第 16 条に規定する一般職員の欠格事項に該当しない方

(5) 主な勤務地

岩手県商工労働観光部定住推進・雇用労働室内（岩手県盛岡市内丸10番1号県庁本庁舎2階）

(6) 勤務時間 【第2回から変更しました！】

- ・ 午前8時30分から午後5時15分まで（1時間休憩あり）
- ・ 原則、1日あたり7時間45分、1週間あたり38時間45分勤務を基本とします。
ただし、(10)に定める兼業等を理由として、週4日勤務など勤務時間を変更することも可能ですので、応募の段階で御相談願います。（その場合、勤務時間数などに応じて給与額が調整されます）

(7) 休日・休暇

原則、週2日、年末年始（12/29～1/3）、国民の祝日

※土日祝日においてもイベント、出張対応等の勤務が生じる場合があります。

休暇として、年次休暇、病気休暇、特別休暇があります。

(8) 雇用形態

①雇用形態：「いわて定住・交流促進連絡協議会任期付職員」（いわて地域おこし協力隊）として採用（岩手県は「いわて地域おこし協力隊」として委嘱）

※「いわて定住・交流促進連絡協議会」は、いわてへの定住・交流促進に向けて、情報の共有化、ネットワークの構築を図ることを目的として、県・市町村・民間団体等が設置した組織です。

②期間：任期は1年以上、3年以下 年度単位の更新

③雇用先：いわて定住・交流促進連絡協議会

（岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県ふるさと振興部地域振興室内）

(9) 給与

報酬月額：200,200円（1週間あたり38時間45分勤務の場合）

賞与・昇給：なし

(10) 兼業

地域おこし協力隊の活動の妨げにならない範囲で認めます。

※事前に協議会の許可が必要です。

(11) 待遇・福利厚生

①通勤手当：有（協議会の規程により支給。上限32,000円）

②家賃補助：有（協議会の規程により27,000円を上限に家賃の概ね半額程度補助）

③加入保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

④時間外手当：支給しない

⑤休日勤務の取り扱い：振替休日にて対応

⑥パソコン：協議会から貸与。

(12) 現地見学会・オンライン相談など

①現地見学会を希望される場合は、随時対応いたしますので御相談下さい。

※現地開催の場合は、交通費は自己負担となります。

②オンライン又は電話による情報収集及び相談を希望される場合も、随時対応いたします。

5 応募手続きについて

(1) 提出書類

いわて地域おこし協力隊 応募用紙（パソコンでの作成可）

※応募用紙は、岩手県のホームページに掲載しています。

(2) 募集期間

令和6年3月8日（金）17時まで

※募集期間内に応募いただきましたら随時選考いたしますので、採用者が決まり次第募集を終了します。

(3) 選考の手続き

ア 1次選考：書類選考

応募書類による書類選考を実施します。

結果は、応募を受け付けた日から1週間程度で御連絡します。

イ 2次選考：オンライン面接

書類選考合格者を対象にオンラインで面接を実施します。オンライン面接の結果は、面接の日から1週間程度で御連絡します。

ウ 3次選考：面接

オンライン面接合格者を対象として、最終面接を盛岡市内で実施します。（面接会場までの交通費は自己負担になります。）

面接の結果は、面接の日から1週間程度で御連絡します。

(4) 書類の提出先・問い合わせ先

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

岩手県 ふるさと振興部地域振興室 いわて地域おこし協力隊担当 宛て

電話：019-629-5184

mail:AB0007@PRef.iwate.jp

※応募書類は書留郵便又はレターパックプラスで郵送して下さい。

<参考 URL>

岩手県の移住定住に関する取組みは以下のサイトで情報収集が可能です。

■県移住ポータルサイト「イーハト一部に入ろう！」

<https://iju.PRef.iwate.jp/>

■ツイッターアカウント「イーハト一部」

https://twitter.com/PRef_iwate_0007

■県就職マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」

<https://www.shigotoba-iwate.com/>

■いわて暮らしビジュアルブック「&iwate」

<https://iju.PRef.iwate.jp/andiwate/>